



議 会

によどがわ

だより

2007.2
第6号

一月二日、十九年仁淀川町「成人式」に58人の新成人（対象者67人）が出席し行われた。会場は若さと熱気にあふれ、故郷での再会を喜びあう声声声……。久しぶりに活気であふれた一日となった。（池川コミュニティセンター）

大人への仲間入り



十二月定例会

- (株)ソニアに質問が集中 ……2・4・6・8P
PET-CTを導入しては ……6P
スクールバスをPTA等に貸し出しできないか ……11P
バイオマスシステム化の現状は ……12P
火災報知器設置が義務化となるが ……13P



家族が見守る中で…。

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 橋本真一 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 筒佐川印刷所

一 般 質 問

平成18年12月定例会は、12日に招集され、会期を14日までの3日間とし、12日、諸般の報告（議長、町長、教育長）、議案の上程、提案理由の説明。13日は、一般質問。14日は、議案の審議、討論、採決を行い、17議案を原案どおり可決、2意見書を提出、町林活議連を結成し閉会した。

(株)ソニアの

経営に質問が集中しました



(株)ソニアの
赤字経営責任は誰がとる

答 取締役…

問

若藤敏久

(株)ソニアは採算性のない設備投資により設立以来赤字続きである。

特に三年前、四億八千万円を投資した木材加工施設は職員の経験不足から、四千万円の減価償却費さえまならない状況

答

町長

と思う。議会には意志決定権がなく情報も乏しい。一口に言えば乱脈経営だが、責任は誰がとるのか。

赤字の原因は加工技術の未熟さと巨額な減価償

却費にある。今後、鋭意努力をするが、市場価格も変動し厳しい状況である。責任は最終的には取締役にあると考える。

(株)ソニア（第三セクター）仁淀川町、越知町、佐川町等が出資。素材生産や木材搬出用の作業道開設木材加工等が主な業務



(株)ソニア（佐川）

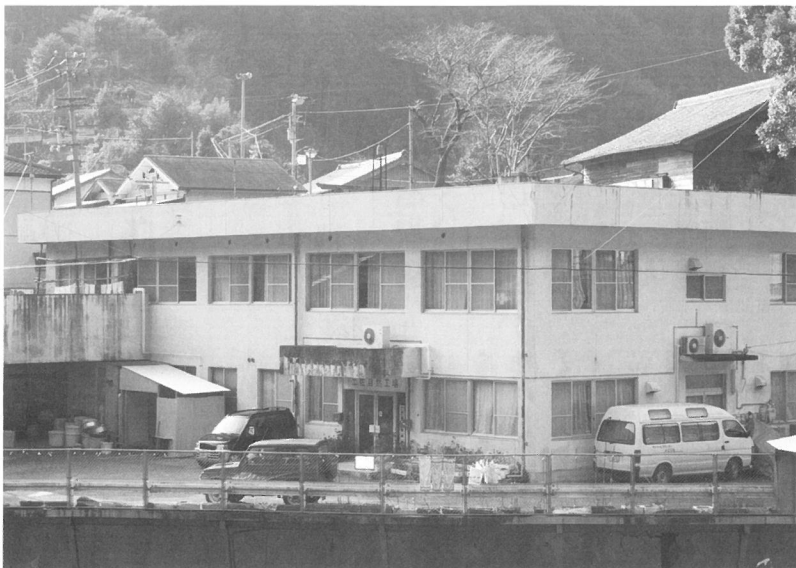
高齢者生産活動 センターの現況 は

問

若 藤

旧池川町にある高齢者生産活動センターは、お年寄りの生きがいの場となっている。ぜひ吾川、仁淀にも設置を。これまでの経緯と現況は。

六七〇万円で委託
答 池川地域振興課長



土佐自然工場が指定管理者となっている

高齢者生産活動センター（土居甲）

高齢者の就業機会の増大と生きがいを目的につくった。当初は町直営だったが農協や社会福祉協議会に委託し、現在は六七〇万円の委託料で、（有）土佐自然工場が指定管理者となっている。

賃金が

安すぎる

問

若 藤

執行部は日給三万から四万になっているはずだ。この工場で働いているお年寄りは賃金があまりにも安過ぎる。少しでも上げていただきたい。

答

池川支所長

議員が調査するのは結構なことと思う。管理者には、町が必要な指示を行う。

分庁方式で町の活性化を

答 寂れるのは時の流れ

問

若 藤

答

町 長

合併後、一年半が経過したが、地区によっては国保や介護保険料の負担増に悲鳴を上げている。福祉は切り捨てられ農林業は低迷し頼みの公共事業も削減され続けている。現況をみると仁淀川町の将来は真つ暗だ。町長の公約に行財政改革推進協議会を発足し、第三セクター等の見直しを行うとあるがその成果はあったのか。

また「均衡のとれた町づくり」を強調しているが、開店休業同然の仁淀総合支所周辺の寂れようにお気つきか。

これが「和の町政」と行財政改革を推進した結果というのか。

今後、仁淀、池川地区を元気にする「町づくりビジョン」があるのか問う。

答

町 長

十八年三月より行財政改革大綱を策定し、しもの郷やゆの森等、公の施設に指定管理者制度を導入、簡素で効率的な行政サービスを推進している。また、町民の利便性向上のため、町民バスの運行管理、路線や料金の見直しを行っている。給与制度や人事評価制度も国に準拠し、見直しているところだ。

「均衡のとれた町づくり」には地域担当職員制度を導入し、懇談会や戸別訪問を通じて町民の意見を参考に協議、調整を行っている。

問

若 藤

急激に寂れている仁淀、池川総合支所周辺の状況の答弁がない。これらを打開し町発展のために、

答

町 長

現在の支所機能は存続し教育委員会や建設課を仁淀、池川に設置する分庁方式以外にないと考えている。分庁方式なら本庁（大崎）に集中している人々が仁淀、池川に流れ、職員を削減する必要もない。町の発展を真剣に考え対応を。

総理は「地方の活性化なくして国の発展はない」というが、現実逆行している。本庁だから大丈夫で、仁淀、池川は支所だから寂れることはないと思う。少子高齢化など時代の流れには逆らえず、今後は住民と互いに検討していきたい。国、県から職員数が多いといわれるが人権問題もあり苦心している。



(株)ソニアの

赤字経営の原因は

答

生産性と
品質管理の低さが原因

問

岡田良成

九月の高知新聞に「第三セクターの廃止を検討する」という見出しで、赤字経営が市町村の破たんにつながる」と県議会の指摘があった。知事は、「経営の行き詰まりが、最終的に町村財政の破たんにつながり、法的な整備を含め、事業の見直しを検討する必要がある」と答弁した。

仁淀川町は(株)ソニア(平成五年十二月設立)に、資本金一五億六七五〇万円のうち、一〇億三五〇〇万円出資している。現在では一億九二六六万円の預金、過去十三年間で、一度も黒字経営はない。十七年度の売上高が二億二五五九万円、赤字一億一三七三万円の原因は何か。

十八年一月から五月の材木の仕入、製品の売上を聞く。
株主以外の取締役、武藤武義氏、櫻井智明氏の職務は。今後の経営について問う。

答

町 長

木材産業界は、いくらか明るい兆しが見えつつあるが、大変厳しい状況は続いている。

本年一月より加工販売業務に取り組んでいるが、職員の経験不足から加工技術が伴わなかったため、製品単価も安定せず、コスト面での課題を抱えている現状であり、売上高素材生産等五〇四五万円。木材加工一億七五一四万円。経常損失は自己資金による減価償却四八四二万円を含めると、指摘のとおりである。

原木仕入八六二五万円、売上高五八八六万円。赤字の原因は、減価償却を除くと六五三〇万円となり、生産性と品質管理の低さからきているものと思う。

武藤氏は、高知工科大学連携研究センター長。櫻井氏は、(株)イー・クラッチの代表取締役。
厳しい状況であるが、今後とも努力をしなければならぬと思っている。



(株)ソニア②

普通の会社なら
倒産している

問

岡田

十八年一月からの、木材仕入から売上をみたときに、三〇〇〇万円からの赤字が出でている。十七年度の決算は売上の半分が赤字であり、普通の会社なら、当然倒産である。櫻井氏は運送会社経営と聞いているが、木材に精通した相談役であるべきではないか。

木材の仕入れは、伊藤林業が多いが、今後は森林組合、地域から、仕入れができれば、雇用の上にもつながり、所得を上げることができる。思い切った投資をし、作業道、間伐林道を抜く政策を行い、将来、黒字決算ができるよう努力すべきでは。

取締役は
十分責任を
感じている

答

町長

仕入は、町内の素材生産者にも呼びかけて、購入をしている。作業道、間伐林道は、現在の財政状況では、町単独の事業は限度があり、県の森林局と連携を取り、現在、「森の工場」などを検討している。

ソニアについては、心配をかけているが、我々取締役は十分責任を感じており、今後、一層の努力をと考えている。

ゆの森 歩道橋へ四七二五万円は妥当か

問

岡田

合併する前、私が議会議員になる前に四七二〇万円予算化をし、繰越事業で行っている歩道橋だが、町長の考えを問う。

答

町長

ゆの森の玄関口まで、安全かつスムーズな人の流れが確保でき、イベント開催時に利用できる。狭い駐車場の有効利用を目的に整備に取り組んできた。設置は中津観光協会、アプロス運営委員、役員と協議をした結果である。

問

岡田

歩道橋は必要と思う。しかし、四七二五万円は妥当か。町民からは無駄、金をかけすぎ、景観が悪

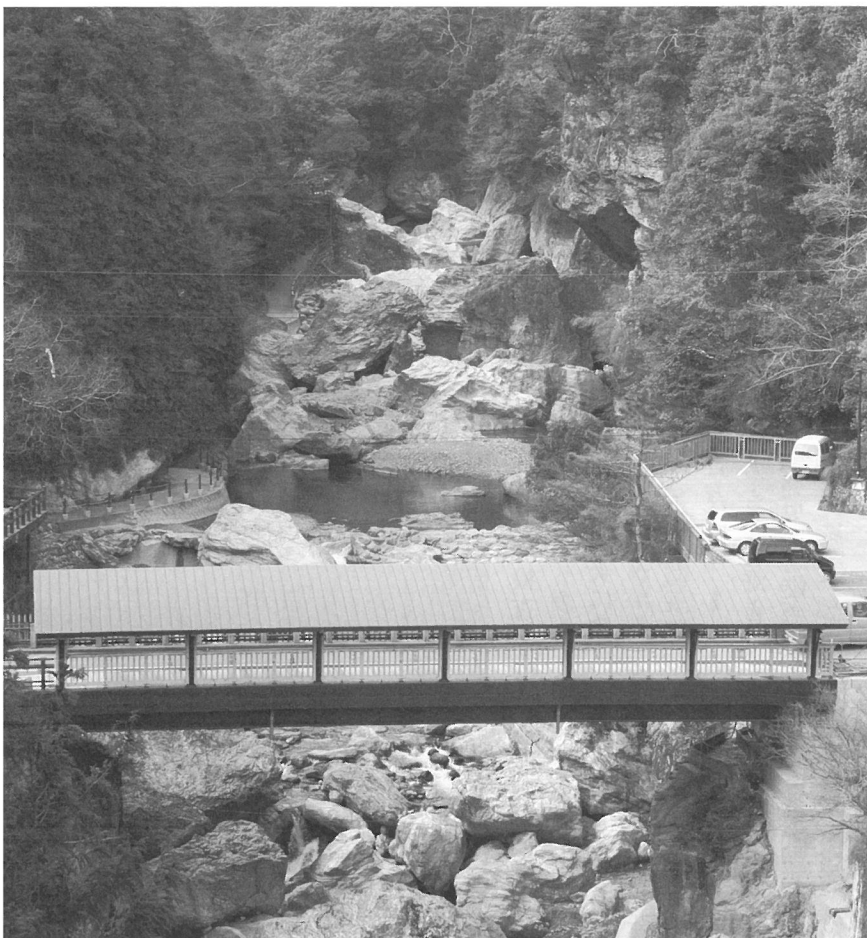
① 答 中津観光協会等と協議した

くなったとの話もある。今後は、幅広い意見を聞き町民の幸せにつながる行政執行を。

答

町長

当初予算に計画された事業を実施した。



4,725万円で立派な!? 歩道橋が (名野川)



(株)ソニアへの出資額は

答

十億三五〇〇万円で
出資率は66%

問

西森常晴

ソニア設立時の出資比率と名前の由来は。

答

産業建設課長

平成五年十二月設立時の出資の総額は、十五億六七五〇万円。66%の十億三五〇〇万円を、旧三カ町村（現・仁淀川町）が負担している。
会社名は、佐川（S）越知（O）仁淀（N）池川（I）吾川（A）の頭文字をとりソニア（SONIA）とした。

問

西森

町民の中では、「売れば売れば赤字を出しよ」う」「出資金は食いつくして破産は時間の問題」と悲観的なウワサが立っているが大丈夫か。

答

町長

これまで、林業、製材機械や建物、土地、損失補てん等に十三億八千万円を投資しており、全部赤字ではない。

問

西森

二分の一以上出資していれば町はソニアに対して、そこそこの資料は要求できると思うが。
17年度の一億一千万円の赤字で、その中で四八〇〇万円が減価償却費ということだが、人件費はいくらか。

答

町長

ソニアの内部資料は、ここで話すことはできない。

問

西森

合併して、今ソニアは佐川（S）越知（O）仁淀川町（N）でSONとなった。漢字に変換すると「損」となる。そうならないように。

答

保健福祉課長

陽電子放射断層撮影のことで、ガンの性質を利用した新しい検査方法。ガン細胞は正常な細胞よりもたくさんのブドウ

問

西森

ペット—CT
を導入しては

「ペット検診」とは。

糖を取り込む性質をもっている。その性質を利用してブドウ糖によく似た陽電子を放出する薬剤を静脈から注射し、ガン細胞に集まった様子を「ペット—CT」という装置を使い撮影し、ガンの有無や広がりなどを調べる画像診断のことをいう。

問

西森

「ペット—CT検査」は欧米では主流で、ガン細胞は通常、1cm大になるのに、10、20年かかるといわれている。

この検査方法は、1cm以下のものも発見でき、ガンの早期発見が可能だ。大崎診療所に設置してはどうか。

答

町長

五億〜六億円かかるものを、今すぐには答えられない。奇想天外な発想に思える。

奇想天外

ではない

問

西森

十二年前、中津明神山に風力発電を提案したら、町長には理解してもらえなかった。先程の福原議員への答弁で、津野町の風力発電の関連で、固定資産税が一千万円、仁淀川町に入るとあった。津野町は四千万円を見込んでいたという。

「ペット—CT」検診は10年後には、ガン検診の主流となるのは確実だ。先のみえた、北海道や石川県の自治体では、「ペット—CT」検査を受けながらの観光ツアーをすでに始めた。本町もこれで、交流人口を増やし町の活性化につなげたらどうか。

答

町長

先の答弁のとおり。



(株)ソニア（製材）③

中学校 統合した方が良いのでは 答 簡単にはいかない

問

西 森

現在の児童生徒の数は
どうなっているか。
三つの中学の統合を
図る考えはないか。

答

教育長

時間をかけ、十分に議
論する必要があると考
える。

児童生徒数 (現在)

	吾川中	仁淀中	池川中	合 計
中3年	23	22	13	58
2年	15	18	22	55
1年	20	20	13	53
小6年	17	21	7	45
5年	16	11	10	37
4年	28	19	12	59
3年	14	25	8	47
2年	19	19	8	46
1年	20	19	11	50

(注・児童生徒数の表参照)

議長一ロメモ！

感謝の気持ち

一月二日、新年幕開け
仁淀川町成人式が新成人
多数出席し執り行われま
した。

私が出しました。
私の成人式は四十年前
で今ほど経済にゆとりは
なく式も質素なもので記
念に苗木を頂いたことを
記憶しております。

戦後六十二年日本の経
済は著しく成長しまし
たが、地方では不況の厳
しさは増すばかりです。
新成人謝辞の中で「親
に感謝、支えてくれた人
に感謝」の言葉がありま
したが、感動する言葉で
すね。新成人はもとより
私も感謝の気持ちを忘れ
ずに健康に十分留意して
頑張らましよう。
本年は亥年です。町民
の皆さまにも良い年であ
りますようお祈りします。

問

西 森

小学校がなくなれば、
その地域は寂れる。地域
と共にある小学校の存続
は町をあげて図るべきと
考える。

児童生徒数の表を見て
もらいたい。大人数が絶
対とはい切れぬが、
一クラス10人以下で、た
とえば体育の授業は効果
が上げられるのか。今、
統合を図れば、当分の間
一学年二学期が確保でき
今と比較して生徒のため
にはプラス面が多いと思
うが。

答

町 長

非常にとつぴなといっ
たら失礼かもしれんが、
中学校の統合は簡単にい
くものではない。
保護者、地域の声を聞
き、全般的に検討してい
かなければならない。

答

教育長

町長は統合は考えてい
ない。町全体のビジョン
の中で、その時期を見極

めていきたい。

問

西 森

魅力のある中学校を作
るには、意欲的に勉強し
て話し合いをしなければ
、流れに任せて傍観し
ていては良い中学校には
ならない。自信をもって、
何が一番子どものため
になるのか、一生懸命考
えたら答えはおのずと出
ると思うが。

答

教育長

県に小中学校の適正規
模検討委員会があり、す
でに検討しており、そ
れらを参考に町長と協議
していきたい。

問

西 森

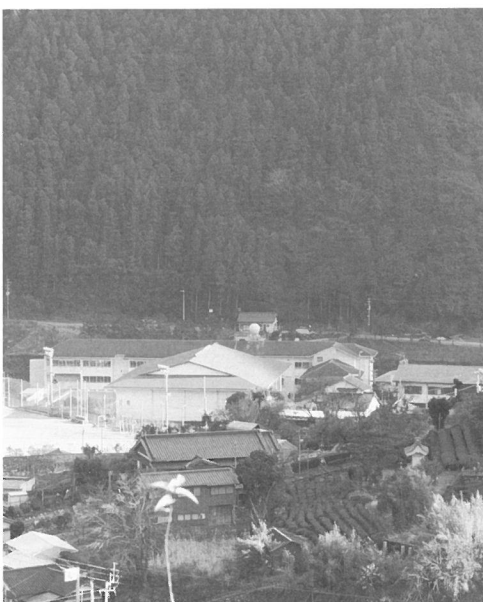
今回、議会で出たこと
を、父兄、子ども、地域
へ問いかけることは約束
できるのか。

私は、一日も早く三校
の統合を図り、各々で空
いた中学校のスペースを
利用して、新たな町づく
りを考えた方が賢いやり
方だと思う。たとえば、
吾川中の跡地は仁淀川町
全体の医療・福祉のゾ
ーンにするとか。

答

教育長

意見があつたことは、
機会あるごとに伝える。



吾川中学校周辺 (大崎)



(株)ソニア設立の目的は

答 雇用の場創設と
農林家への有利還元：

問

大原儀郎

地球温暖化で気象が変化し、生態系に大変な問題が生じている。温暖化防止は、森林の整備が緊急の課題となっている。

林業・木材産業の振興を図れば大きな収益になり、温暖化防止に、大きな貢献を果たすことができる。

(株)ソニア設立の趣旨は、林業に従事する若者を多く育成することではなかったのか。十三年も経過したが、当初より減っている。このことをもっと督励すべきでは。

答

町長

趣旨は、流域資源の活用をベースに、若者が定着できる職場の創設と、農林家への有利還元シス

テムの確立を図ることである。そのなかで、素材生産に主力をおき流域内

林業の基礎体力を上げることを第一段階とし、第

二段階は原木流通と製材事業等、加工に取り組み

第三段階として流域内の原木工場や製材事業で生じる樹皮などの有効利用を目的とした事業及び地域資源事業を行う。

**資本金は町が
借金して
つくったもの**

問

大原

ソニアの資本金の大部分は町が国から借金をした過疎債で、町はこれを毎年返済してきた。大切な資本金を、町民のために役立てていくのが、代表取締役の町長の責任で

ある。資本金はどうなっているのか。

**機械・建物・土地
などに**

八億七〇〇〇万円

答

町長

資本金のうち、九億円が過疎債で、投資に回すことが条件だった。従って林業、製材等の機械や建物、土地などに八億七千万円を投資している。

**取締役自ら
汗をかく必要が
ありはしないか**

問

大原

十七年の決算書によると、一年間で一億一三〇〇万円を超える欠損を出

している。年度途中で何の対策もしていないようだが、この責任は。

ソニアは現在1・5交代の変則勤務体制だが、一月から完全2交代制にすると聞いた。損益を十分に見極めないと、今の状態で大量に製材すれば、欠損が大きくなると思う。それで良いか。取締役自ら工場に入って汗をかい

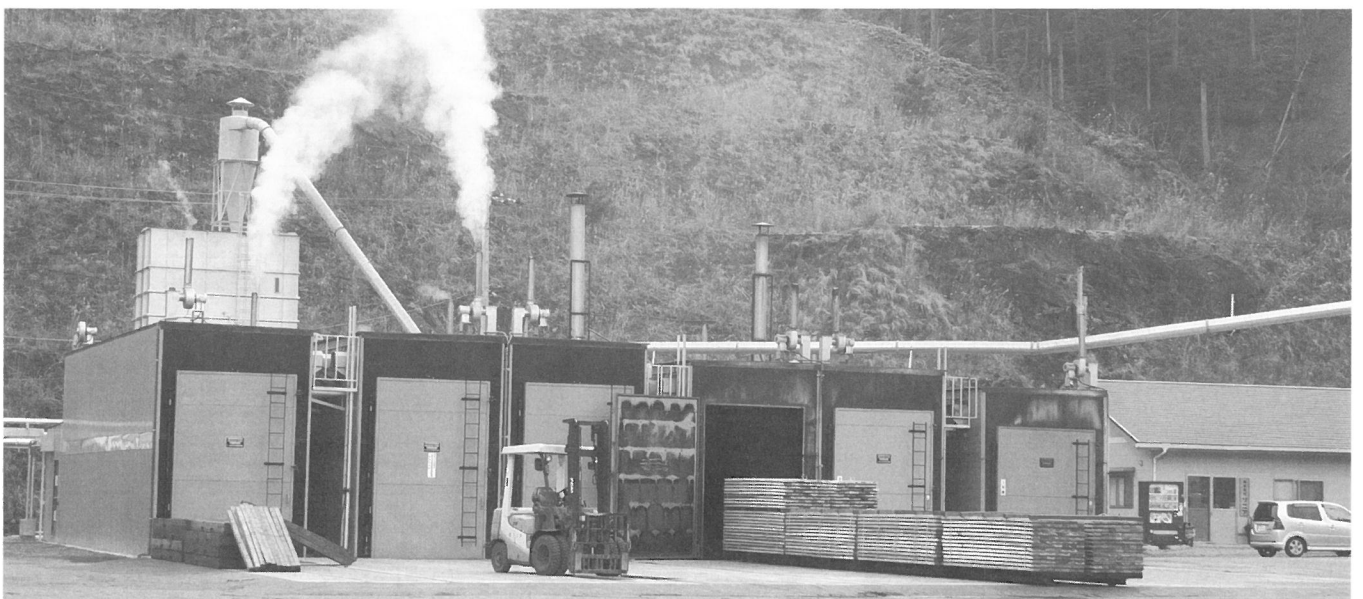
たらどうか。経営責任は、取締役を辞めたら済むというものではないと思うが。

責任は取締役に

答

町長

改善すべき問題点が多く、課題を抱えている。いかにして流域の林業活性化に役立てていくか。経営責任はすべて取締役にあり、その責任を痛感している。提言をふまえて鋭意努力をしていく。



(株)ソニア (乾燥施設) ④